

(款) 50消防費 (項) 5消防費 (目) 5常備消防費

◎警防対策の経費

警防活動事業 【 警防救急課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 消防職員等

意図 消防職員の技術の向上を図り、各種災害に即時対応できるよう機材の維持管理をするため。

効果 組織全体のレベルアップ・事故の絶無を目指し、市民を災害から守る。

【事業の内容】

(1) 警防活動事業

- ・ 警防活動に必要な備品の整備、機器の保守点検等を行うとともに、消防学校に職員を派遣し、技術の向上を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

耐震性防火水槽の整備(5-1-4-④)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,503	36,532	36,329		203
主な支出内訳				
・ 警防活動事業				
防火水槽土地借用謝礼(44件)				132
普通旅費及び研修旅費				168
警防活動用消耗品費				5,941
消防車両燃料費				7,520
消防車両修繕料				5,236
高圧ガス容器耐圧検査手数料				237
高圧ガス製造所保安検査手数料				158
自動車等損害保険料				824
梯子車梯体点検委託料				399
軌道下消防用ホース横断施設定期点検等委託料				144
クレーン保守点検等委託料				59
耐震性防火水槽築造工事費				10,899
警防活動用備品購入費				242
神奈川県消防救助技術指導会等負担金				57
神奈川県消防学校研修負担金				120
緊急消防援助隊合同訓練負担金				63
公課費(自動車重量税 17台)				883
公設防火水槽総数 266個				
主な特定財源				
・ 国県支出金				5,656

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-07 警防活動事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	223 警防活動事業					
主管課	警防課(警防救急課)		関連課				
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	火災等の災害防ぎょ活動の充実・強化を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	36,329千円	27,644千円	24,797千円			
	(国・県)		183千円	296千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	36,329千円	27,461千円	24,501千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人	2.0人			
	人件費	9,564千円	9,599千円	19,454千円			
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	45,893千円	37,243千円	34,524千円			
	市民1人当 りの経費	260円	212円	197円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
神奈川県消防学校における 各種専科教育及び玉掛け・ 小型クレーン技能講習	◎	目 標 値	8	8	9	8	未定
		実 績 値	8	8			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 特になし
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 特になし
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 特になし

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	今後も消防活動上の施設、消防活動資機材の維持管理及び職員研修内容を精査し、最新の知識を全職員に共有させる。				
担当課長氏名:		斎藤 務			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	消防活動に支障をきたさぬよう施設の維持に努め、多くの職員に研修を受講させ最新の知識を共有するとともに消防の組織全体のレベルアップを目指し、消防の責任を果たす。				
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則		